

科目名	保育実習指導						
	【保育士必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	後期	単位数	1単位
担当教員	市川和彦・鈴木勲・櫻井直輝						

内容および計画	<p>本講義では、以下の点について理解することを目標とする。</p> <p>1 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の養護を実際に行い、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。</p> <p>2 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。</p>
1	実習計画書の作成（1）
2	実習計画書の作成（2）
3	部分実習実技（1）
4	部分実習実技（2）
5	指導案作成（1）
6	指導案作成（2）
7	実習体験のふりかえりと課題の整理（1）
8	実習体験のふりかえりと課題の整理（2）
9	実習体験のふりかえりと課題の整理（3）
10	実習体験のふりかえりと課題の整理（4）
11	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（1）
12	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（2）
13	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（3）
14	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（4）
15	実習報告書の作成・課題研究、事例研究まとめ（5）

教科書	<p>保育実習 aにて使用した下記のテキストを継続使用するので、毎回持参すること。</p> <p>1) 福島県保育者養成校連絡会 『保育実習の手引き（平成24年度版）』</p> <p>2) 福島県保育者養成校連絡会編 『福島県保育実習施設（平成24年度）』</p>
-----	--

参考書	
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	実習先評価		60%
	実習態度（教員評価）		20%
	提出物		20%

学習到達目標	児童福祉施設の保育士、児童指導員、家庭支援専門員、コメディカルスタッフ等の他専門職との連携・協働による保育・支援について理解できた。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	保育実習 も併せて必ず登録してください。
-----	----------------------